

障がい者ピアサポートの専門性を高めるための研修についてのアンケート

このアンケートは、日本メンタルヘルスパイサポート専門員研修機構が主催する「精神障がい者ピアサポート専門員養成研修」に参加した皆様を対象としています。

以下の質問にご回答いただき、**2017年1月25日(水)まで**に同封の返信用封筒にて、ご返送下さい。

I. あなた自身のことについてお聞きします。

問1. あなたの年齢をお答えください。(ひとつに 印)

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳以上 |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|

問2. あなたの性別をお答えください。(ひとつに 印)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問3. あなたの生活状況についてお答えください。(ひとつに 印)

- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| 1. 家族と同居 | 2. 一人暮らし | 3. グループホーム | 4. その他() |
|----------|----------|------------|-----------|

問4. あなたの現在の「主たる診断」と「重複している診断」をお答えください。(の欄に番号を記入)

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------------|
| 1. 統合失調症 | 2. うつ病 | 3. 躁うつ病 |
| 4. 認知症 | 5. 神経症(不安、パニック、強迫性障害) | 6. 発達障害 |
| 7. 依存症(薬物、アルコールなど) | 8. 摂食障害 | 9. パーソナリティ障害 |
| 10. 知的障害 | 11. てんかん | 12. 高次脳機能障害 |
| 13. その他() | | |

主たる診断
(1つのみ選択)

重複している診断
(複数選択可)

問5. 上記(問4)以外の障がいをお持ちの場合はお答えください。(あてはまる場合はチェック☑を入れてください)

- | |
|----------------|
| 身体障がい(具体的に) |
| 難病(具体的に) |
| その他の障がい(具体的に) |

問6. あなたが持っている医療・福祉系の資格をお答えください。(あてはまるものすべてに 印)

- | | | | |
|-------------------|----------------------|--------------|------------|
| 1. 介護福祉士 | 2. 社会福祉士 | 3. 精神保健福祉士 | 4. 介護支援専門員 |
| 5. 看護師・准看護師 | 6. 理学療法士(PT) | 7. 作業療法士(OT) | 8. 臨床心理士 |
| 9. あん摩・マッサージ指圧師 | 10. 居宅介護従業者等のヘルパーの資格 | | |
| 11. 1~10以外(具体的に) | | | |

問7. あなたがはじめて日本メンタルヘルスパイサポート専門員研修機構の研修を受講した以降で、**ピアの専門性を活かした就労経験**はありますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 8 . あなたの現在の就労（労働契約による賃金、もしくは工賃・謝金等の賃金をもらって働くこと）の状況について教えてください。（ひとつに 印）

1. 就労している	2. 就労準備中 ・ 就学中	3. 就労・就学中ではない
-----------	----------------	---------------

【「就労している」と回答した方】

a. あなたが現在の働いている形態を教えてください。（ひとつに 印）

1. 一般求人による就労	2. 障害者求人による就労 (一般企業の障害者枠)	3. 福祉的就労
--------------	------------------------------	----------

ここでいう「福祉的就労」とは、就労継続支援 A・B 型事業所や作業所などでの工賃を主とした就労を指します

b. 現在、ピアの専門性を活かした働き方をしていますか。

1. している	2. していない
---------	----------

【「している」と答えた方のみ】
現在の主たる活動に を付けてください（複数回答可）

1. 事業所での雇用契約にもとづく活動
2. 事業所での謝金・有償ボランティア
3. 事業所でのボランティア
4. その他の自主的な活動

【「就労準備中・就学中」と回答した方】
現在の状況について教えてください。
(複数回答可)

1. 福祉関連の事業所を利用中
2. ハローワークに登録中
3. 障害者就業・生活支援センターを利用中
4. 就学中
5. 資格取得のための準備中
6. その他 ()

問 9 . これまでの一般就労の経験（アルバイト等も含む）について教えてください。（ひとつに 印）

1. 経験あり	2. 経験なし
---------	---------

「一般就労の経験あり」と回答した方はお答えください。

経験した職場数 ()ヶ所、 合計勤務年数 ()年間

問 10 . ピアの専門性を活かした働き方（ピアスタッフ等）の経験について教えてください。（ひとつに 印）

1. 経験あり	2. 経験なし
---------	---------

「経験あり（ピアの専門性を活かした働き方のある方）」と回答した方は、お答えください。

		経験した職場数		合計勤務年数	
		ヶ所	計	年間	年間
福祉関連の事業所 <small>(地域活動支援センター、就労支援事業所等)</small>	雇用契約にもとづく活動	ヶ所	計	年間	
	謝金・有償ボランティア	ヶ所	計	年間	
	ボランティア	ヶ所	計	年間	
医療関連の事業所 <small>(病院、クリニック等)</small>	雇用契約にもとづく活動	ヶ所	計	年間	
	謝金・有償ボランティア	ヶ所	計	年間	
	ボランティア	ヶ所	計	年間	
その他の自主的な活動	謝金・有償ボランティア	ヶ所	計	年間	
	ボランティア	ヶ所	計	年間	

裏面につづきます

Ⅱ. ピアサポート専門員研修機構の研修についてお聞きします

問 11. 次のピアサポート専門員研修機構で実施している研修内容のそれぞれの項目について、
 a. 今現在のあなたにとっての重要度として、あてはまる番号に一つずつ 印を付けてください。
 また、ピアの専門性を活かして働いている（または、これまでに働いたことのある）方は、
 働く中での b. 研修の役立ち度についてもお答えください。

研修内容	すべての方				ピアの専門性を活かして働いたことのある方のみ			
	a. 重要度 今、あなたにとってどの程度、重要と感じますか？				b. 研修の役立ち度 ピアの専門性を活かして働く上でどれくらい役立ちましたか？			
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	役に立っている	やや役に立っている	あまり役に立っていない	役に立っていない
1. ピアとは？（ピアに関連する言葉の整理）	1	2	3	4	1	2	3	4
2. リカバリーについて（基本的理念）	1	2	3	4	1	2	3	4
3. ストレングスについて（基本的理念）	1	2	3	4	1	2	3	4
4. ピアサポート専門員の意義 （目指す方向性、役割、活躍できる職場など）	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 自分を知ること・語ること（リカバリーストーリー）	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 自分自身に対する偏見（内なる偏見）と世間の偏見について	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 自分自身の病気や薬について理解する	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 精神疾患についての一般的な基礎知識	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 精神保健医療福祉に関する制度の基礎知識	1	2	3	4	1	2	3	4
10. コミュニケーションのポイント、手法 （場の共有、相手を理解する、共感など）	1	2	3	4	1	2	3	4
11. ピアサポート専門員の専門性 （他の専門職との共通点や違い、位置づけ）	1	2	3	4	1	2	3	4
12. ピアサポート専門員としての倫理規定 （倫理と守秘義務、倫理規定など）	1	2	3	4	1	2	3	4
13. 働く人（労働者）としての権利と義務 （働く上で必要なこと、雇用側が求めること）	1	2	3	4	1	2	3	4
14. 就職活動の際のポイント （求人票のチェックポイント、採用面接のポイント）	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 就職が決まった直後に大事なこと （労働条件の通知と雇用契約、就業規則）	1	2	3	4	1	2	3	4
16. 職場における合理的配慮について	1	2	3	4	1	2	3	4
17. 個別支援計画とケアマネジメント	1	2	3	4	1	2	3	4
18. グループ運営・ファシリテーション	1	2	3	4	1	2	3	4
19. 書類作成（ケース記録の書き方など）	1	2	3	4	1	2	3	4
20. 利用者との信頼関係で大切なこと （信頼関係の構築、問題解決の際の方法）	1	2	3	4	1	2	3	4
21. 職場での対立、他の専門職との関係性	1	2	3	4	1	2	3	4
22. 自分自身を大切にすることと他者を大切にすることとの葛藤（バウンダリー）	1	2	3	4	1	2	3	4
23. 地域生活支援と社会資源の活用 （地域における社会資源やサービスについて）	1	2	3	4	1	2	3	4
24. 職場での危機管理 （危険な状況を避けるための危機管理など）	1	2	3	4	1	2	3	4
25. スーパービジョンについて	1	2	3	4	1	2	3	4
26. 自己対処能力、自分自身のケア	1	2	3	4	1	2	3	4
27. SST（社会生活技能訓練）についての基礎知識	1	2	3	4	1	2	3	4
28. WRAP（元気回復行動プラン）についての基礎知識	1	2	3	4	1	2	3	4
29. 事例検討	1	2	3	4	1	2	3	4

問 12 . あなたが受けた精神障がい者ピアサポート専門員養成研修についてお答えください。

研修の種類 (受講したものに 印)	受講した年度 (受講年度に 印)	受講した会場 (受講会場に 印)
a. 基礎研修	平成 25 年・平成 26 年・平成 27 年・平成 28 年	札幌・仙台・東京・横浜・兵庫・福岡・鹿児島
b. 専門研修	平成 25 年・平成 26 年・平成 27 年・平成 28 年	札幌・仙台・東京・横浜・兵庫・福岡・鹿児島
c. フォローアップ研修	平成 25 年・平成 26 年・平成 27 年・平成 28 年	東京

問 13 . ピアサポート専門員研修での、以下の講座の形式は、あなた自身の学びの上で役に立ちましたか。

講座 (講師による講義)	1.役に立った	2.やや役に立った	3.あまり役に立たなかった	4.役に立たなかった
グループワーク	1.役に立った	2.やや役に立った	3.あまり役に立たなかった	4.役に立たなかった
シンポジウム	1.役に立った	2.やや役に立った	3.あまり役に立たなかった	4.役に立たなかった

問 14 . ピアサポートに関する基礎・専門研修の実施の仕方についての希望をお聞きします。

現在のピアサポート専門員研修の日数・時間数としては適切と思いますか。

基礎研修	1. 現行のまま (2日間)でよい	2. 短い	3. 長い	【2.3と回答した方】 どの程度だと負担がないですか？
				一日に()時間程度 計()日間
専門研修	1. 現行のまま (2日間)でよい	2. 短い	3. 長い	一日に()時間程度 計()日間

あなたのご職場・ご所属は、何時間程度であれば研修を許容してくれますか？

基礎研修	一日に()時間程度	計()日間
専門研修	一日に()時間程度	計()日間

それぞれの講座の実施方法として、グループワークはあったほうがよいと思いますか。

基礎研修	1.必要	2.どちらかといえば必要	3.どちらかといえば必要ない	4.必要ない
専門研修	1.必要	2.どちらかといえば必要	3.どちらかといえば必要ない	4.必要ない

問 15 . ピアサポートに関する研修についての希望をお聞きします。

研修内容として、ピアサポートに関する研修で取りあげてほしいものがありましたらお書きください。

その他、研修の実施のしかたについての要望がありましたらお書きください。

例) 開催地、開始時間、終了時間、休憩、講師陣、グループのファシリテーターなど

問 16 . ピアサポート専門員養成研修以外で、あなたがこれまでに受けたことのあるピアサポートに関連する研修を教えてください。(あてはまるもの全てに 印)

1. 都道府県または市町村が主催するピアサポートに関連する研修
2. 法人または事業所内で主催するピアサポートに関連する研修
3. 自助グループやピアサポートグループによる研修
4. その他の研修 (具体的に)
5. ピアサポート専門員養成研修以外は、受講したことがない

問 17 . ピアサポート専門員養成研修以外の研修で役に立った研修等の内容があれば教えてください。

Ⅲ.. ピアの専門性を活かした働き方をする（している）上での、あなた自身の考えについてお聞きします【すべての方がご回答ください】

問 18. ピアの専門性を活かして障害福祉サービス事業所等で働く際に勤務先の職員に望むことはどのようなことですか。重要だと思ふものを3つ選んで番号に○をしてください。

1. 病気・障がいへの理解
2. 通院を保障してくれること
3. 調子が悪い時、就労する時間を短くしてくれること
4. 精神的負担の大きい業務を除外してくれること
5. 働く上で必要な知識に関する助言
6. 働く上で必要なスキルに関する助言
7. 人として尊重してくれること
8. 職員として対等に接してくれること
9. 役割や責任を持たせてくれること
10. ピアの専門性への理解
11. その他（)

問 19. ピアの専門性を活かして働く人を受け入れるにあたり、その職場の他の職員にも、研修を受けてもらいたいと思いませんか。

1. はい

2. いいえ

②「1. はい」と回答された方にお聞きします。職員にもっと身につけてもらいたいことはどのような内容ですか。重要だと思ふものを3つ選んで番号に○をしてください。

1. 病気・障がいへの理解
2. ピアの専門性への理解
3. ピアと一緒に働くことの意義
4. ピアの病状や体調の自己管理に対する理解と尊重
5. 職員自身のセルフマネジメント
6. 差別や偏見の除去
7. 職員同士の協働、チームでの支援の方法
8. ハラスメントに関する知識
9. スーパービジョンの方法
10. 労務管理
11. その他（)

問 20. ピアの専門性を活かして働く人を採用することで、効果があると思えるものは何だと思いませんか。効果があると思えるものすべてに○をしてください。

1. 事業所職員の障がい特性への理解が深まる
2. 利用者の幅広い情報収集ができるようになる
3. 利用者のニーズを把握しやすくなる
4. 本人を中心とした支援が浸透する
5. 適切な対応をすれば回復することがわかり、仕事のやりがいにつながる
6. 障がい者である同僚と一緒に働くことで、より深く障がい者を理解するようになる
7. 障がい者である同僚と一緒に働くことで、障がい者の可能性を信じられるようになる
8. 障がいのある同僚と働くことで、自立生活を送る障がい者を具体的に知ることが出来る
9. 障がい者である同僚と一緒に働くことで、より深く障がい者を尊重するようになる
10. 障がい者である同僚と一緒に働くことで、障がい者の挑戦を後押しするような職場の雰囲気形成されるようになる
11. 障がい者である同僚がいることで、利用者の自立や回復を想像出来るようになる
12. その他（)

(*本設問の項目は、平成27年度 障害者支援状況等調査研究事業 障害福祉サービス事業所等におけるピアサポート活動状況調査報告書 みずほ情報総研株式会社 2016年3月を参照させていただいております。)

次のページ(最終ページ)につづきます

問 21 . ピアの専門性を活かして働く(働いている)上で、労働条件や環境として最も重要と思う要素は
なんですか？あてはまるものを3つ選び、番号○をしてください。

1. 賃金
2. 労働時間
3. 職務内容
4. 上司との人間関係
5. 同僚との人間関係
6. ピアとして働く職員が複数いること
7. 職場内に相談できる相手がいること
8. 通勤時間
9. その他()

問 22 . これまでに専門職やその他の職員から学んだことで印象に残っていることがありましたら、
教えてください。

問 23 . これまでに専門職やその他の職員の対応で、困ったことや不快な思いをしたことがありましたら、
教えてください。

問 24 . ピアの専門性を活かして働く(働いている)中で、雇用される組織に望むことはなんですか？

問 25 . その他、あなたが、ピアの専門性を活かして働く上で苦勞していることや課題と感じていること、
もっと学びたいと思うことはどのようなことでしょうか。ご自由にお書きください。

ご協力どうもありがとうございました。